

令和八年 新年のごあいさつ

謹んで新年の祝詞を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから行政に対するご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年は、昭和100年、戦後80年という節目の年でした。世界に目をむけますと経済や安全保障面において情勢が大きく変化する中で、日本国内においても、物価の高騰、特に米価の上昇が皆さまの暮らしに大きな影響を及ぼしました。このような状況の中、住民の皆さまの健康と安心・安全な暮らしを守ることを第一に、さまざまな施策を着実に進めてまいりました。

暮らしを支える取り組みとして、まず「生活支援米緊急支援事業」を実施しました。この事業は米の価格高騰が大きく影響する子ども子育て世帯と高齢者単身世帯、福祉施設等に対し、新米が市場に出て価格が落ち着くまでの支援として、お米を配布いたしました。しかし、市場の予想に反し、令和7年産新米が流通し始めても米の価格は高騰を続けたことから、12月より「継続した支援」として、年末に間に合うように高森町生活支援「おこめ券」配布事業を追加で実施しております。この取り組みは、米の市場価格が安定するまでの間、消費者の家計負担軽減と米生産者への支援の二つの側面を持ち、消費者と生産者の両者をつなぐ事業として、他自治体に先駆けて予算化・事業化いたしました。

さらに、生活支援の取り組みとして「たかもりポイントカード」事業を開始し、全町民にカードと初期ポイント5,000円分を配布いたしました。このポイントカードは、地域貢献活動がポイント(通貨)になることで、日々の生活をより豊かにすることを目的としています。行政ポイントを買い物やサービスに利用し、地域の中でお金を循環させることで地域経済を活性化させ、これまでの地域課題の解決のきっかけとなることを目指しています。

また、教育の分野では、県立高森高校の新校舎が落成し、学びの場が一層充実しました。本年度末にはマンガ学科の第1期生が卒業を迎え、この高森の地で学んだ若者たちが創造性をもって巣立ち羽ばたいていく姿を想像すると胸が高鳴ります。今後もこれからの時代を担っていく人材を地域全体で育て力強く支えていく所存です。

さて、2026年は熊本地震からちょうど10年の節目の年でもあります。本年4月には、地震で甚大な被害を受けた南阿蘇鉄道が困難を乗り越えて復旧を成し遂げたこと、それを支えてくれた方々への「感謝」を込め、高森駅においてライトアップイベントを実施予定です。震災で犠牲となられた方々への祈りを深く捧げるとともに、創造的復興への取り組みを一層加速させ、災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちづくりを住民の皆さまと共に進めてまいります。

さらに本年は、草村町政4期目の総仕上げとなる年度を迎えます。チャレンジし続ける気持ちを忘れず、各施策を磨き上げることで、町民の皆さまの「期待」を「実感」に変えられるよう、全力で取り組んで参ります。特に政策を進めるために欠かせない財源確保などの財政運営については、これまで積み上げてきたものをこれからに活かし、次世代に繋ぐという使命を果たしてまいります。

そのためには、町民の皆さま一人ひとりの声が欠かせません。これまで同様に対話を大切にし、支え合いの精神を町政の基盤としながら、皆さまが安心して暮らせる希望に満ちた新しい年を共に創ってまいりましょう。

町民の皆さまにおかれましては、引き続き健康管理に気を付けていただき、令和8年が健康で明るい一年となりますことをご祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



高森町長
草村 大成



新年明けましておめでとうございます。

高森町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より、町議会活動に対しまして格段のご理解とご協力を賜り、議員一同、厚くお礼を申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、昨年は町民の皆様の生活基盤の大きな進展と変化があった一年でございました。特に、4月から始まりました「たかもりポイントカード」に関しましては、町長を始め、執行部、町内関係機関、そして何よりも町民の皆様のご理解、ご協力のおかげもございまして、新規事業として始まりました。改めて、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

また、昨年より野尻・草部の両出張所業務を津留・草部の両郵便局へ委託する取り組みも始まりました。郵便局という地域に根差したインフラと連携することで、窓口の利便性も高まったのではないかと思います。

しかしながら、高森町全体を見渡すと、課題や問題点、解決すべきことも多々あるかと思います。高森町議会としては、様々な課題・問題の解決に向け、執行部と議会がしっかりと議論を重ね、町民の皆様の声の一つでも多く町政に反映させるため、議員一丸となり町民の皆様の期待に応えられる町議会であるよう全力を尽くしてまいります。

町民の皆様におかれましては、引き続き健康にご留意され、希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、町議会活動への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



高森町議会議長
牛嶋 津世志

高森町議会

副議長 本 田 生 一

白 石 豊 和
武 田 栄 喜
児 玉 幸之助
佐 藤 武 文

甲 斐 節 男
後 藤 巖
後 藤 三 治
佐 伯 金 也